

CODE: 取説カラーメタルラック レンジ台 CMR-55134
 サイズ: 420×H297mm (A3)
 材質: 上質紙70kg
 刷色: 1C/1C (BLACK)

安全上の注意

● お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

室内用収納用品

左記以外の用途には使用しないでください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 電器製品などを収納するときは収納する製品の取扱説明書にしたがい、十分すきまをあけて通気性をよくしてご使用ください。製品の故障や火災の原因となります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- お子さまがいたずらしないよう注意してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- メラミン棚板と棚板は、指定の位置に取り付けてください。転倒や倒壊の原因になります。(ハーフ棚板とスライド棚板は、お好みの位置に取り付けられます。)
- 移動する際はポールを持ち、載せているものが転倒・落下しないよう十分ご注意ください。
- 段差のあるところをキャスターで移動しないでください。段差を超えるときは、載せてあるものを全ておろし、ポールを持ってください。
- キャスターのストッパーは前側に向け、必ずロックしてください。移動時のみ解除してご使用ください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床の傷、へこみなどの原因となりますので十分注意してください。
- 必ず耐荷重以内でご使用ください。
- 一点に集中的に荷重がかからないように、できるだけ均一に置いてください。
- 全体のぐらつきや棚のたわみが多い場合は収納重量を減らしてください。
- 機器を載せる際は必ず中心に置いてください。重心が片寄ると転倒するおそれがあります。
- 水槽台として使用しないでください。棚板がたわむため水槽に無理な力が加わり、水もれや破損のおそれがあります。
- 腐食やかび・変形・変色の原因となりますので、以下のことに注意してください。
 - ・直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
 - ・水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
 - ・濡れたものや熱いものを長時間置かないでください。
 - ・シール、テープなどを貼らないでください。
 - ・メラミン棚板についても上記の注意事項をお守りください。

- 地震などによる転倒防止のため、壁などに固定金具や固定部材で固定することをおすすめします。
- 天災地変や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償はいたしかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 接着剤に含まれる有機溶剤やホルムアルデヒドが残っていることがあります。においが気になるときは、換気をよくして使用してください。

お手入れの方法

● 長くお使いいただくために、以下の注意をお守りください。

- 汚れを落とすときは、薄めた台所用中性洗剤で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>
 製品に関するお問い合わせは **アイリスコール** (通話料無料) **0120-211-299**
 受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
 (年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)
 FAX でのお問い合わせは (通話料無料) **0800-888-2600**
 Web からの問い合わせは <https://www.irisohyama.co.jp/support/>
 メールフォームにご記入のうえ送信してください

081019-RKK-QIU-01



カラーメタルラック レンジ台

CMR-55134 ㊦

ポール直径19mm仕様

このたびは、当製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

■必要工具・ソフトハンマー (プラスチック、木、ゴム製等)

主要材質 / メラミン棚板: 合成樹脂化粧パーティクルボード (メラミン樹脂)、スチール (粉体塗装)
 スライド棚板・ハーフ棚板・ポール: スチール (粉体塗装)
 棚板: スチール (粉体塗装)、クリアシート (PVC)
 固定部品: ABS樹脂
 キャスター: スチール、ナイロン樹脂

仕様	製品サイズ (約)			耐荷重 (約)					
	品番	幅	奥行	高さ (キャスター含む)	ハーフ棚板	メラミン棚板	スライド棚板	棚板	全体
CMR-55134		55cm	35cm	139cm	10kg	50kg	5kg	50kg	50kg

※耐荷重は測定値であり、保証値ではありません。 ※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

重要 組み立て前に必ずお読みください。 以下の事項を必ず行ってください。行わないと本体の強度が著しく低下します。

1 ポールと棚板の取り付け位置

棚板(固定部品)取り付け位置

※下から5ピッチごとに目安の溝が2本入っています。棚板固定部品は上側の溝に取り付けてください。

2 棚板固定部品の取り付け

幅が広い

3 棚板等(リング部)の上下

幅がせまい方が⊕
幅がひろい方が⊖

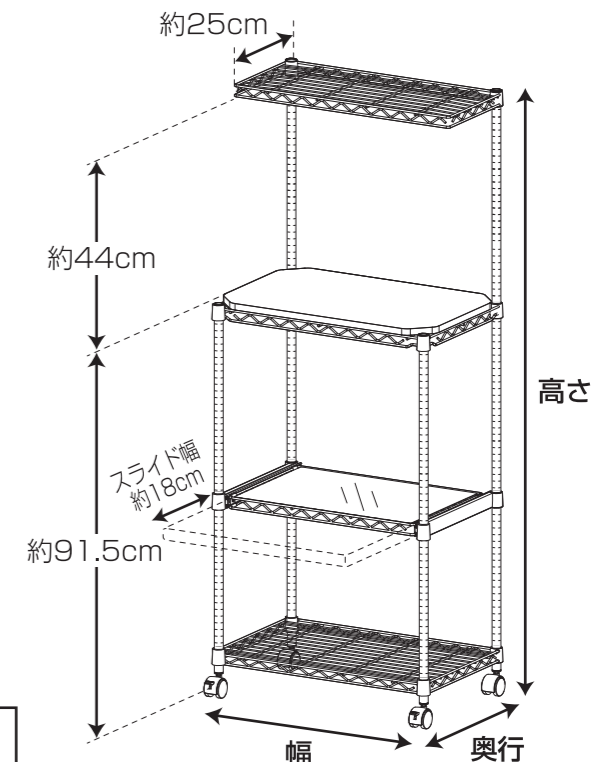
4 棚板等(リング部)の固定と外し方

※リング部にあて木をしてたたいてください。

5 キャスターの取り付け

※スパナを使用して取り付けてください。

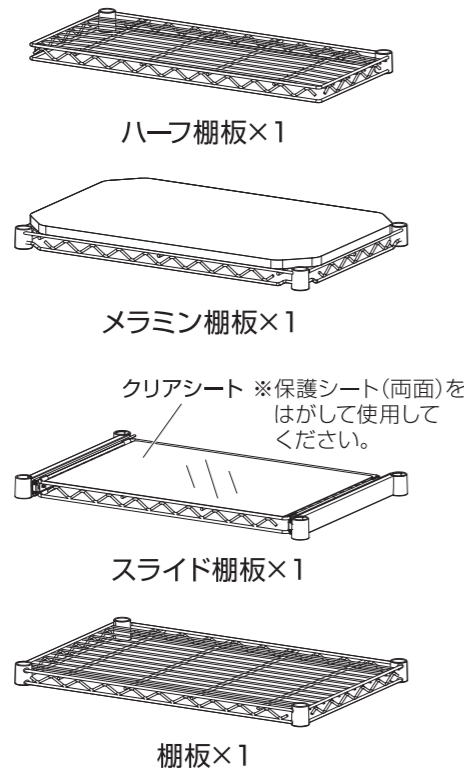
取扱説明書



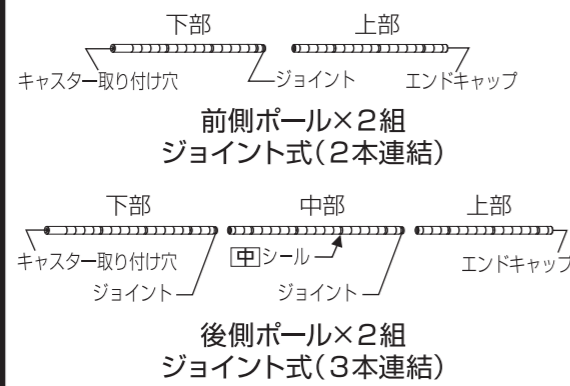
パーツリスト

※各部品及び数量をご確認の上、説明書に従って組み立ててください。

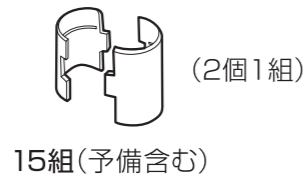
棚板



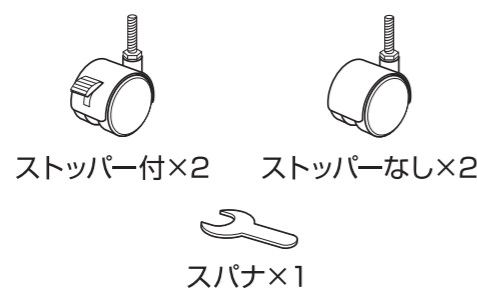
ポール



棚板固定部品



キャスター スパナ



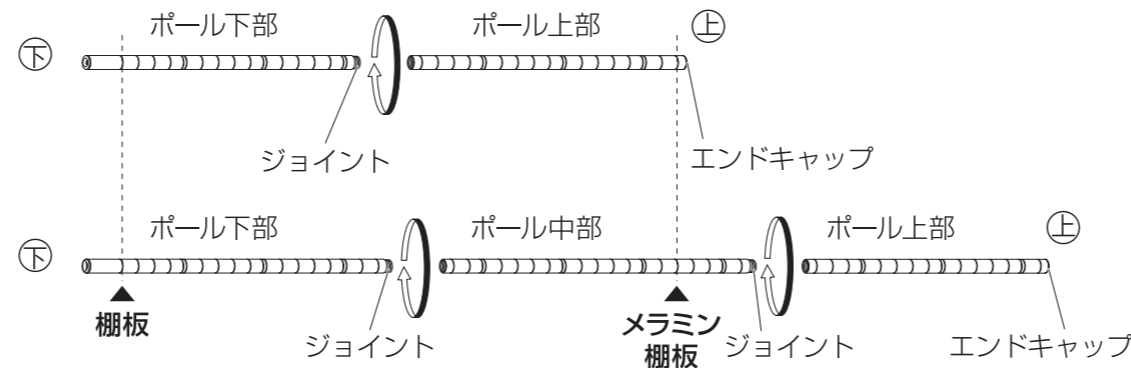
組み立て方

- 部品等は正確に取り付けてください。
- 組み立ては床等にキズがつかないように、あて布やカーペットを敷いて行ってください。

- 棚板固定部品は必ず同じ高さにセットしてください。
- 棚板等は重いので、足などに落としたり、腰を痛めたりすることのないように注意して組み立ててください。

1 ポールを連結します。 次に棚板の取り付け位置を決めます。

表紙参照 1



4組とも同じように連結します。※ポールは最後までねじ込んでください。

棚にのせる物の大きさに合わせ、棚の取り付け位置を決めます。取り付け位置に水性マーカーなどで印をつけておくと作業しやすくなります。

メラミン棚板と棚板は、指定の位置に取り付けてください。



ポールの連結時の注意

ポールの上下組合わせがうまくいかなかった時は、以下の要領で再度組合せ直してください。

- 1 斜めに入ってしまったジョイントを布等で覆い、ペンチ・プライヤー等で挟んで、反時計回りに回してはさしてください。
(必ず布で覆い、ジョイントのねじ部を痛めないようにしてください。)

⚠ 手を切る恐れがあるので、素手でジョイントを回さないでください。

- 2 はずしたジョイントを、ポールに真っ直ぐ入れて、時計回りに回し入れてください。

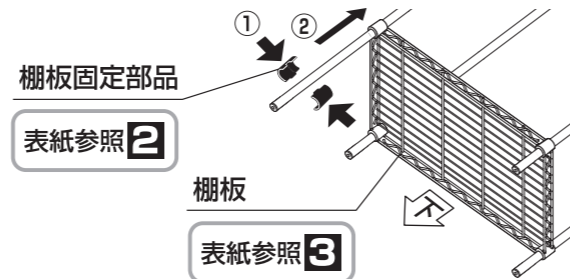
- 3 ポールは重量物となりますので、ポール上下を組合わせる時は、床の上で転がす要領で行うと、上手にできます。

⚠ 床を傷つけないようにご注意ください。



2 ポールに固定部品を取り付け、最下段の棚板から取り付けます。

※棚は1段ずつ下から順に組み立てます。棚板固定部品を▼で指定の位置にセットします。このとき、棚板固定部品の内側の凸部がポールの溝に合うようにセットしてください。

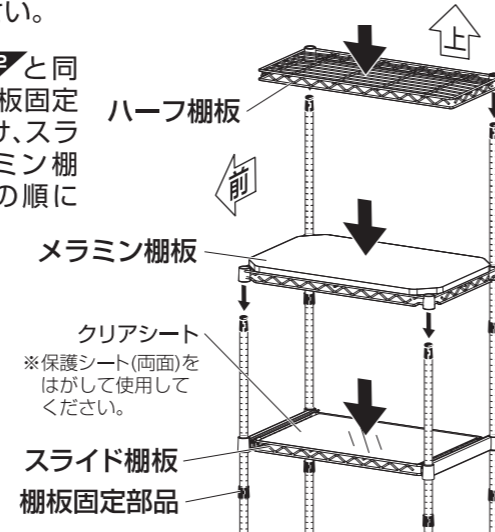


⚠ 注意 取り付ける際に、棚板固定部品の凸部が溝からずれる場合がありますのでご注意ください。

3 スライド棚板、メラミン棚板とハーフ棚板を取り付けます。

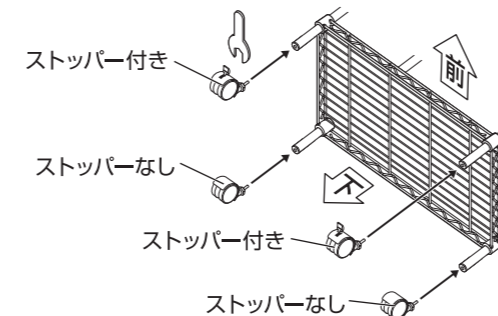
※スライド棚板は引き出す方を前にして取り付けてください。

全体を立てて▼と同様にポールに棚板固定部品を取り付け、スライド棚板、メラミン棚板、ハーフ棚板の順に取り付けます。



※メラミン棚板は▼で指定した位置に取り付けてください。

4 全体をもう一度横にして、キャスターを取り付けます。



ストッパー付きのキャスターは前側に取り付けてください。ポール下側の取り付け穴にキャスターを取り付けます。※キャスターは付属のスパナを使用してしっかり締め付けてください。

5 全体をもう一度立て、棚板をしっかりと固定し、完成です。

※対角同士交互にたたいてください。

⚠ 注意

特にスライド棚板は、お子さまのいたずらに注意してください。ぶらさがって転倒したり、指をはさんでけがをするおそれがあります。

組み立て完了後、確認してください

- 棚板が全て床に対して平行になっているか。
- 製品全体にゆがみやねじれがないか。
- キャスターが全て床に接地しているか。

表紙参照 5

キャスターのロックの仕方

キャスターのロックレバーを図のように下げると、キャスターをロックできます。



棚板の固定 表紙参照 4

棚板リング部にあて木をして対角同士交互に均等にたたいて形を整えます。

